

各 関 係 機 関 御 中

石川県農林総合研究センター所長  
( 公 印 省 略 )

病害虫発生予察情報について

令和 6 年度病害虫発生予報第 1 号を下記のとおり送付します。

連絡先	石川県農林総合研究センター 農業試験場 総合研究部 病害虫防除室 電話 076-257-6972 (直通) FAX 076-257-9140 E-mail kisk0301@pref.ishikawa.lg.jp
-----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 病害虫発生予報第 1 号 (予報期間：4月下旬～5月中旬)

### 予報内容

#### 水 稲

**イネミズゾウムシ**の発生は**多**と予想される。箱施薬していないほ場では、1株当たりの成虫数が0.3頭以上認められたら直ちに防除する。

#### 麦 類

**大麦赤かび病**の発生は**並**と予想される。出穂前後の降雨は発生を助長するので、出穂期の3～5日後とその7～10日後の2回防除を実施する。

**大麦うどんこ病**の発生は**並**と予想される。急進展するようであれば防除を実施する。

#### 大 豆

**タネバエ**の発生は**やや多**と予想される。は種時の防除を徹底する。

#### 果 樹

**カキ炭疽病**の発生は**多**と予想される。孢子飛散は4月中旬からと予想される。発病が新梢に認められた場合は直ちに防除する。

**ハダニ類**の発生は**多**と予想される。抵抗性害虫の発生を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

#### 野 菜・花 き

**ネギさび病**の発生は**並**と予想される。トンネル除去時の防除を徹底する。

**コナガ**の発生は**やや多**と予想される。早期発見に努め、発生を認めた場合は防除を実施する。

<p><b>病害虫防除の実施に当たっては、最新の農薬使用基準を確認し、遵守する。 また、周辺作物への飛散防止に留意する。</b></p>
--------------------------------------------------------------------------

# 気象予報

## 1か月予報（4月4日付け 新潟地方気象台）

予報期間：4月6日～5月5日

### [確率予報]

気 温	低 い 10%、	平年並 20%、	高 い 70%
降 水 量	少 ない 30%、	平年並 40%、	多 い 30%
日照時間	少 ない 40%、	平年並 30%、	多 い 30%

### [概要]

#### 1か月予報

暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。特に期間の前半は、気温がかなり高くなる可能性があります。

- ・ 4月6日（土）～4月12日（金）

天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

- ・ 4月13日（土）～4月19日（金）

天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

- ・ 4月20日（土）～5月3日（金）

天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

注 1) 発生量は平年比。  
2) (+) は病害虫の発生に好適な要因、(-) は不適要因、  
(±) は好適・不適に関与しない要因を示す

## 1 水稻の病害虫

### イネミズゾウムシ

発生時期 本田侵入盛期は5月4半旬以降  
発生量 多  
予報の根拠 (1) 前年の発生はやや多 (+)  
(2) 気温は高い (+)  
防除上の注意事項 (1) 箱施薬していないほ場では田植え後のほ場巡回に努め、1株当たりの成虫数が0.3頭以上認められたら直ちに防除する。

### イネドロオイムシ

発生時期 成虫の本田侵入盛期は5月下旬、幼虫発生盛期は6月中旬  
発生量 並(成虫)  
予報の根拠 (1) 前年の発生は少 (-)  
(2) 気温は高い (+)  
防除上の注意事項 (1) 箱施薬の実施に努める。  
(2) 箱施薬していないほ場では、1株当たり1卵塊以上認められる場合、直ちに防除する。

### イネヒメハモグリバエ

発生時期 5月下旬以降  
発生量 少  
予報の根拠 (1) 気温は高い (-)  
防除上の注意事項 (1) 発生初期の防除を徹底する。  
(2) 深水管理は発生を助長するので留意する。

## 2 麦類の病害虫

### 大麦赤かび病

発生時期 4月下旬以降  
発生量 並  
予報の根拠 (1) 前年の発生は少 (-)  
(2) 気温は高い (+)  
(3) 降水量はほぼ平年並 (±)  
防除上の注意事項 (1) 高温時の降雨は発生を助長するので留意する。

### 大麦うどんこ病

発生時期 連続発生  
発生量 並  
予報の根拠 (1) 現在の発生は未確認 (-)  
(2) 気温は高い (+)  
(3) 降水量はほぼ平年並 (±)  
防除上の注意事項 (1) 急進展するようであれば防除を実施する。

### 3 大豆の病害虫

#### ネキリムシ類（カブラヤガ・タマナヤガ）

発生時期	増加期は5月下旬以降
発生量	やや多
予報の根拠	(1) タマナヤガのフェロモントラップ誘殺数は並（±） (2) 気温は高い（+）
防除上の注意事項	(1) は種時の防除を徹底する。

#### タネバエ

発生時期	5月下旬以降
発生量	やや多
予報の根拠	(1) 気温は高い（+） (2) 降水量はほぼ平年並（±）
防除上の注意事項	(1) は種時の防除を徹底する。 (2) 有機物を施用したほ場は発生が多くなるので注意する。

### 4 果樹の病害虫

#### ナシ黒星病

発生時期	5月中旬以降
発生量	並
予報の根拠	(1) 前年の発生は多（+） (2) 気温は高い（-） (3) 降水量はほぼ平年並（±）
防除上の注意事項	(1) 発生初期の防除を徹底する。

#### ナシ黒斑病

発生時期	5月中旬以降
発生量	並
予報の根拠	(1) 前年の発生は少（-） (2) 気温は高い（+） (3) 降水量はほぼ平年並（±）
防除上の注意事項	(1) 袋かけ前の防除を徹底する。

#### ブドウ灰色かび病

発生時期	4月下旬以降
発生量	やや少
予報の根拠	(1) 気温は高い（-） (2) 降水量はほぼ平年並（±）
防除上の注意事項	(1) 早期発見に努め、発生を認めた場合は防除を実施する。

#### カキ炭疽病

発生時期	新梢の発病は5月上旬以降
発生量	多
予報の根拠	(1) 前年の発生は多（+） (2) 気温は高い（+） (3) 降水量はほぼ平年並（±）

防除上の注意事項 (1) 胞子飛散は4月中旬からと予想される。発病が新梢に認められた場合は直ちに防除する。

#### ハダニ類

発生時期 増加期は4月中旬以降

発生量 多

予報の根拠 (1) 前年の発生は多 (+)

(2) 気温は高い (+)

防除上の注意事項 (1) 防除は発生源となる下草を刈り取った後に実施する。

(2) 抵抗性害虫の発生を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

## 5 野菜・花きの病害虫

#### トマト灰色かび病

発生時期 連続発生

発生量 少

予報の根拠 (1) 現在の発生は少 (-)

(2) 気温は高い (-)

(3) 降水量はほぼ平年並 (±)

防除上の注意事項 (1) 発生初期の防除を徹底する。

(2) 施設内の換気および適正温度の管理に努める。

#### トマト葉かび病

発生時期 増加期は5月下旬以降

発生量 少

予報の根拠 (1) 現在の発生は少 (-)

(2) 気温は高い (-)

(3) 降水量はほぼ平年並 (±)

防除上の注意事項 (1) 施設内の換気および適正温度の管理に努める。

(2) 肥料切れのほ場に発生しやすいので、適正な施肥を行う。

#### スイカ褐斑細菌病

発生時期 増加期は5月下旬以降

発生量 並

予報の根拠 (1) 育苗期の発生は少 (-)

(2) 気温は高い (+)

(3) 降水量はほぼ平年並 (±)

防除上の注意事項 (1) トンネル除去時の防除を徹底する。

(2) ほ場排水に努める。

#### キュウリ灰色かび病

発生時期 連続発生

発生量 少

予報の根拠 (1) 現在の発生はやや少 (-)

(2) 気温は高い (-)

(3) 降水量はほぼ平年並 (±)

- 防除上の注意事項
- (1) 発生初期の防除を徹底する。
  - (2) 施設内の換気および適正温度の管理に努める。

#### ネギさび病

- 発生時期 連続発生  
発生量 並  
予報の根拠 (1) 現在の発生は少 (－)  
(2) 気温は高い (+)  
(2) 降水量はほぼ平年並 (±)  
防除上の注意事項 (1) 早期発見に努め、発生を認めた場合は防除を実施する。

#### アブラムシ類 (野菜・花き全般)

- 発生時期 急増期は4月下旬以降  
発生量 やや多  
予報の根拠 (1) 現在の発生は並 (±)  
(2) 気温は高い (+)  
防除上の注意事項 (1) 早期発見に努め、発生を認めた場合は防除を実施する。

#### ネキリムシ類 (カブラヤガ・タマナヤガ)

- 発生時期 増加期は5月下旬以降  
発生量 やや多  
予報の根拠 (1) タマナヤガのフェロモントラップ誘殺数は並 (±)  
(2) 気温は高い (+)  
防除上の注意事項 (1) は種時又は定植時の防除を徹底する。  
(2) ほ場およびほ場周辺の除草をこまめに行う。

#### コナガ (アブラナ科野菜)

- 発生時期 4月下旬以降  
発生量 やや多  
予報の根拠 (1) 現在の発生は並 (±)  
(2) 気温は高い (+)  
防除上の注意事項 (1) 早期発見に努め、発生を認めた場合は防除を実施する。